



2024年3月期 通期決算説明会
(2023年4月1日～2024年3月31日)

2024年5月31日
株式会社シモジマ

2024年3月期 通期 決算報告



1. 決算概要
2. 売上高 《販売ルート別》 前期比増減金額
3. 売上高 《商品セグメント別》 前期比増減金額
4. 売上高・営業利益推移
5. 財務状況
6. 成長投資計画
7. 配当の状況

1. 決算概要

【連結】

単位：百万円

科 目	2023年3月期・通期		2024年3月期・通期		
	金 額	前 期 比	金 額	増 減 額	前 期 比
売 上 高	55,028	+14.5%	57,794	2,766	+5.0%
売 上 総 利 益	17,543	+17.2%	19,173	1,629	+9.3%
売 上 総 利 益 率	31.9%	+0.8pt	33.2%		+1.3pt
販 管 費	15,531	+4.1%	15,910	378	+2.4%
営 業 利 益	2,011	+4,413.5%	3,262	1,251	+62.2%
経 常 利 益	2,388	+527.7%	3,623	1,234	+51.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,542	+1,666.1%	2,372	830	+53.8%

2. 売上高 《販売ルート別》 前期比増減金額

【連結】

○営業販売部門 **405億80百万円**

前期比：+18億72百万円 +4.8%

売上構成比：70.2%

○店舗販売部門 **113億62百万円**

前期比：+47百万円 +0.4%

売上構成比：19.7%

○通信販売（EC）部門 **58億51百万円**

前期比：+8億47百万円 +16.9%

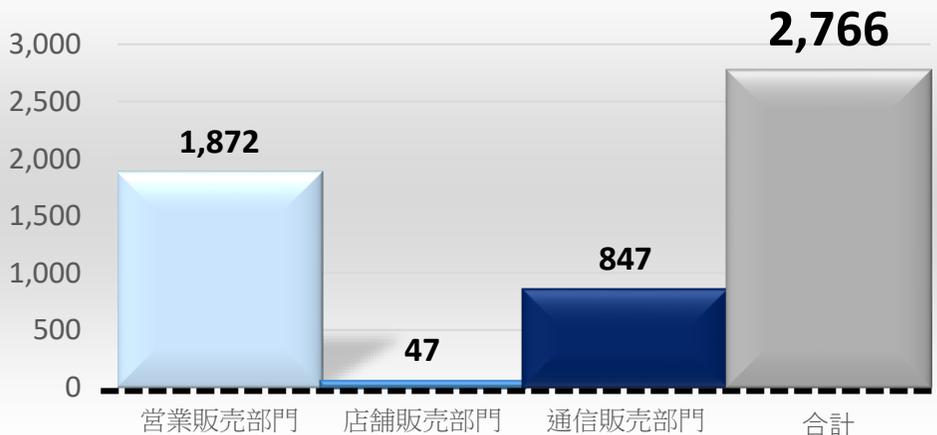
売上構成比：10.1%

合計：577億94百万円

前期比：+27億66百万円 +5.0%

単位：百万円

販売ルート別 売上前年比



< 売上増加要因 >

○営業販売部門

- ・環境配慮型商品及び既製品の主力商品拡販
- ・特注品受注活動に注力
- ・催事、イベント活発化

○店舗販売部門

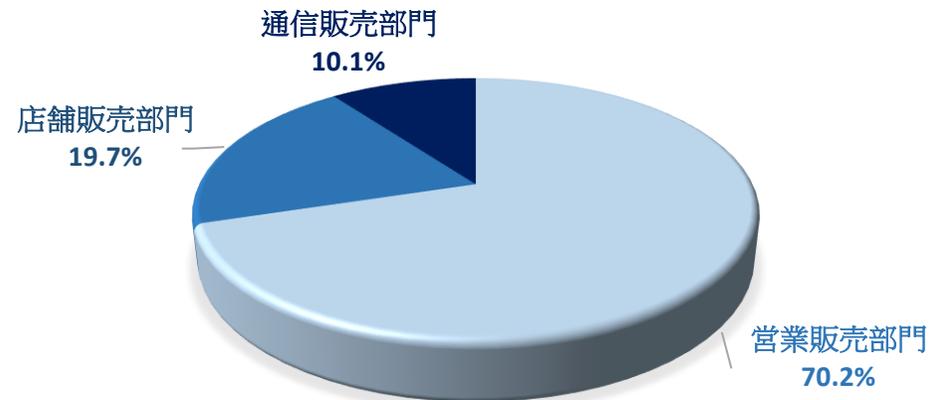
- ・催事、イベント需要回復→関連資材品揃え充実

○通信販売（EC）部門

通販サイト（シモジマオンラインショップ）

- ・登録商品数増加（100万SKU突破！）
- ・登録会員数増加

販売ルート別 売上構成比



3. 売上高 《商品セグメント別》 前期比増減金額

【連結】

○**紙製品事業** 101億53百万円

前期比：+1億54百万円 +1.5%
売上構成比：17.6%

○**化成品・包装資材事業** 341億66百万円

前期比：+23億30百万円 +7.3%
売上構成比：59.1%

○**店舗用品事業** 134億75百万円

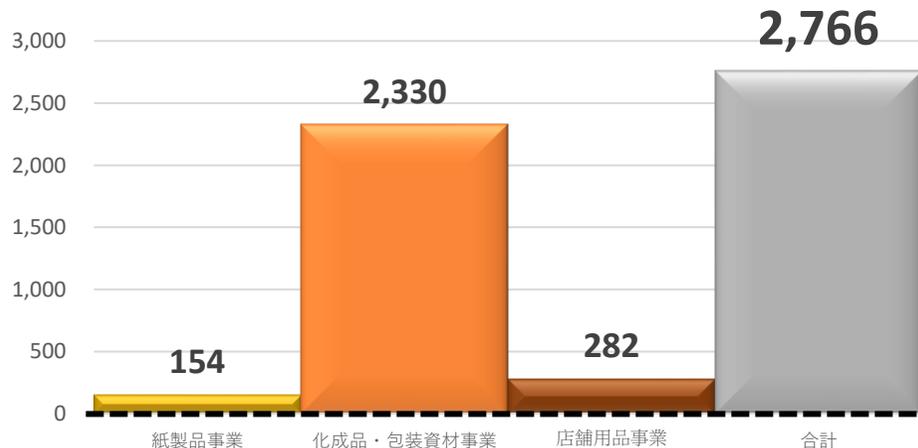
前期比：+2億82百万円 +2.1%
売上構成比：23.3%

合計：577億94百万円

前期比：+27億66百万円 +5.0%

単位：百万円

商品セグメント 売上前年比



< 売上増加要因 >

○**紙製品事業**

- ・ テイクアウト資材・通販資材好調

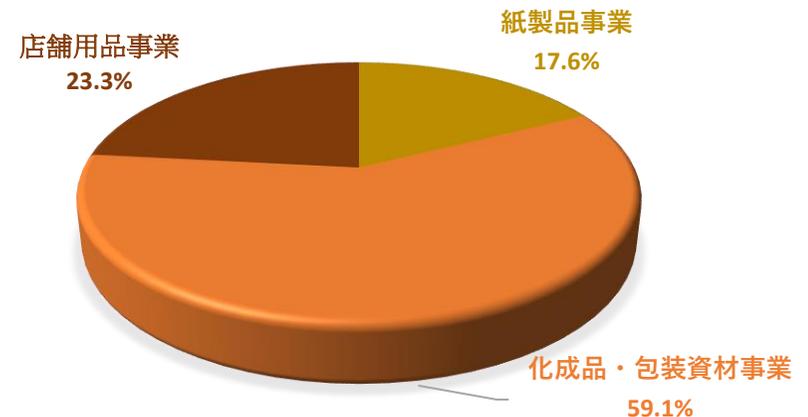
○**化成品・包装資材事業**

- ・ 主力既製品（レジ袋、ゴミ袋、コップ）好調
- ・ 特注品の獲得推進
- ・ 環境配慮型商品の開発と拡販

○**店舗用品事業**

- ・ インバウンド需要回復傾向
- ・ 飲食業界向け資材好調

商品セグメント別 売上構成比



4. 売上高・営業利益推移

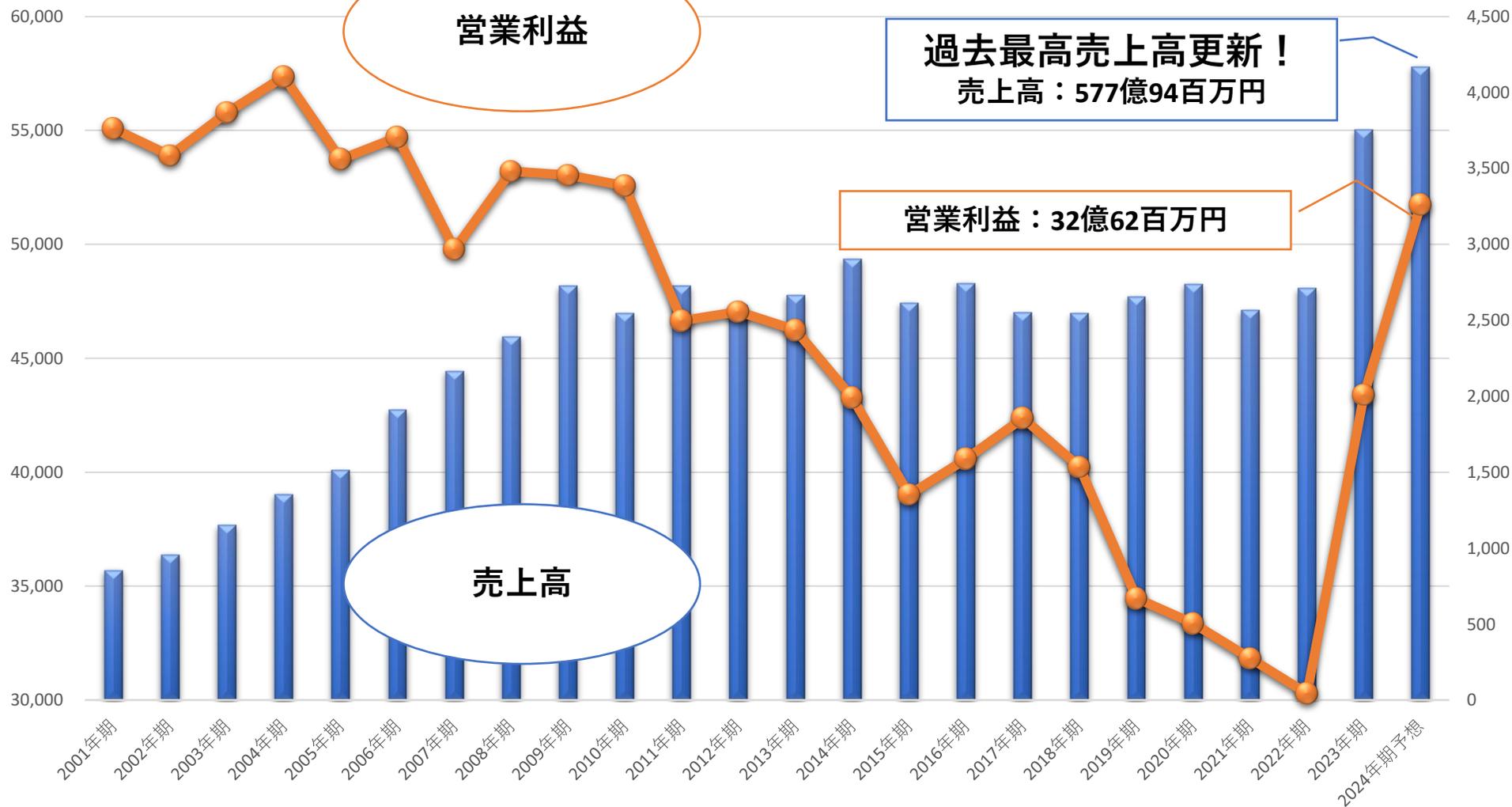
業績推移 【連結】

(単位：百万円)

売上高

※2009年3月期より連結対象

営業利益



5. 財務状況 (1)

■ 損益計算書

【連結】

単位：百万円

勘定科目	2023年3月期 通期	2024年3月期 通期	増減額	前期比
売上高	55,028	57,794	2,766	+5.0%
売上原価	37,485	38,621	1,136	+3.0%
売上総利益	17,543	19,173	1,629	+9.3%
物流費	4,480	4,458	▲22	▲0.5%
人件費	6,665	6,749	84	+1.3%
管理費	4,385	4,702	316	+7.2%
販管費合計	15,531	15,910	378	+2.4%
営業利益	2,011	3,262	1,251	+62.2%
営業外損益	377	360	▲16	▲4.4%
経常利益	2,388	3,623	1,234	+51.7%
特別利益	171	1	▲170	▲99.3%
特別損失	113	93	▲19	▲17.5%
税金等調整前当期純利益	2,446	3,531	1,084	+44.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,542	2,372	830	+53.8%

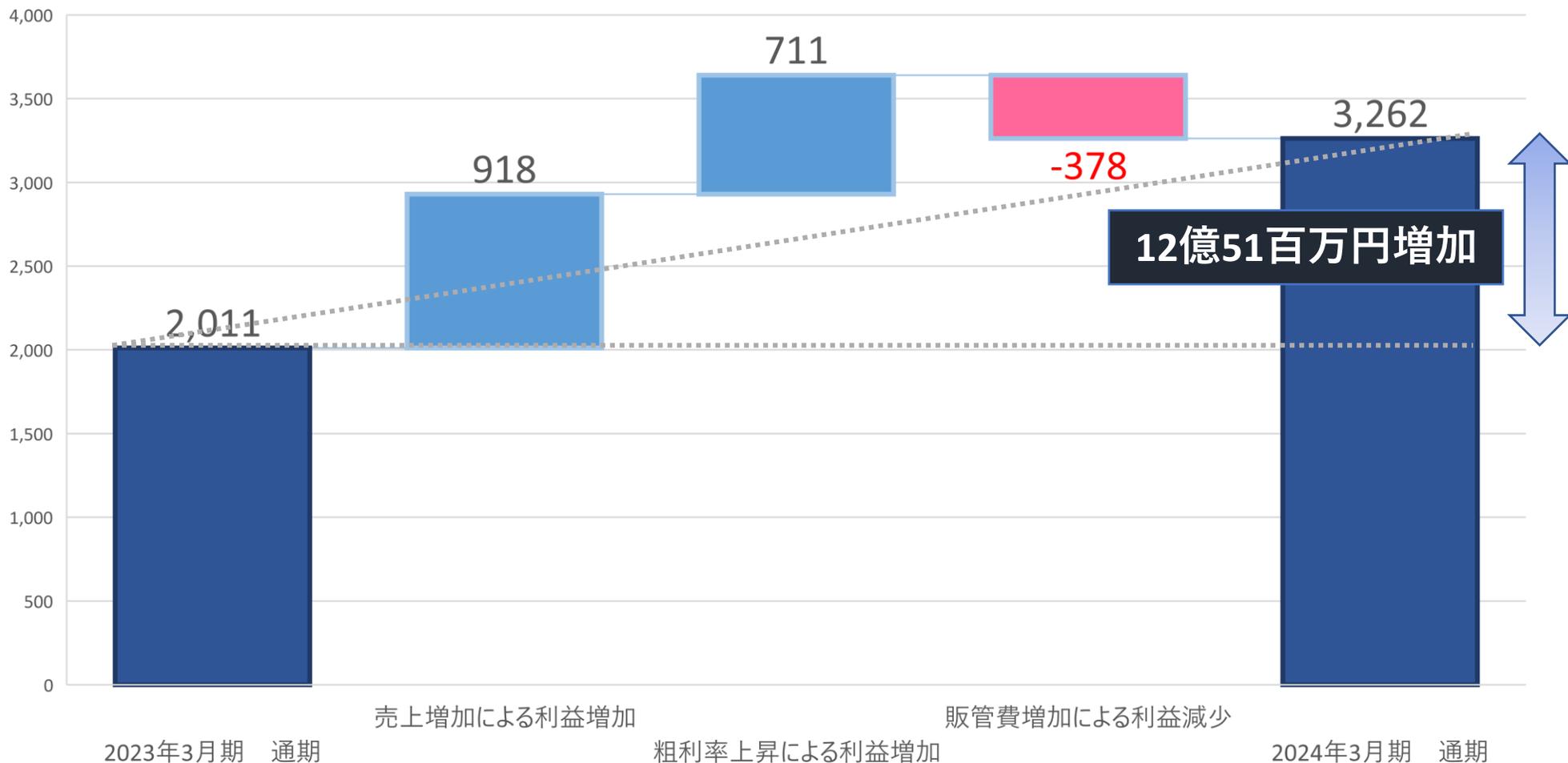
前期：保険解約益あり

5. 財務状況 (2)

■ 営業利益の増減要因 【連結】

単位：百万円

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



5. 財務状況 (3)

■貸借対照表 ① 抜粋

【連結】

<資産の部>

単位：百万円

勘定科目	2023年 3月末	2024年 3月末	増減額
現金及び預金	7,140	9,681	2,541
受取手形及び売掛金	7,991	8,415	423
棚卸資産	5,871	5,763	▲107
建物・造作設備・機械設備 等	5,778	6,382	604
土地	7,761	7,760	▲1
無形固定資産	1,619	1,324	▲294
保険積立金	1,636	1,814	177
資産合計	40,023	43,407	3,383

利益の増加及び月末休日による
支払日のズレ

東大阪配送センター建替 等

減価償却
(のれん、ソフトウェア)

5. 財務状況 (4)

■貸借対照表 ② 抜粋

【連結】

<負債の部>

単位：百万円

勘定科目	2023年3月末	2024年3月末	増減額
支払手形及び買掛金	3,010	4,355	1,344
未払金	874	1,177	303
退職給付に係る負債	352	288	▲64
長期リース債務	227	258	30
土地再評価に係る繰延税金負債	277	277	-
負債合計	7,343	8,651	1,307

利益の増加及び月末休日による支払日のズレ

<純資産の部>

単位：百万円

勘定科目	2023年3月末	2024年3月末	増減額
資本金	1,405	1,405	-
利益剰余金	36,834	38,039	1,205
その他有価証券評価差額金	320	378	57
土地再評価差額金	▲6,195	▲6,195	-
純資産合計	32,679	34,756	2,076
負債純資産合計	40,023	43,407	3,383

期間純利益 2,372百万円
 配当金 ▲513百万円
 自己株式の消却 ▲654百万円

自己資本比率 79.9%
 (前年同期比 ▲1.6pt)

5. 財務状況 (5)

■ キャッシュ・フロー計算書 (抜粋)

【連結】

単位：百万円

勘定科目	2023年3月期 通期	2024年3月期 通期
税金等調整前当期純利益	2,446	3,531
減価償却費	913	954
投資有価証券評価損・売却損	4	92
売上債権の増減額(▲は増加)	▲889	▲423
棚卸資産の増減額(▲は増加)	▲356	107
仕入債務の増減額(▲は減少)	94	1,334
法人税等の支払額	▲174	▲1,199
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,328	4,698
固定資産の取得による支出	▲1,640	▲1,354
保険積立金の解約による収入	993	48
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲378	▲1,479
配当金の支払額	▲511	▲512
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲686	▲678
現金及び現金同等物の期首残高	5,848	7,111
現金及び現金同等物の当期末残高	7,111	9,651

利益の増加及び月末休日による
支払日のズレ

東大阪配送センター建替

6. 成長投資計画

中期経営計画設備投資予定額
2022年3月期～2026年3月期
70億円程度

今後の成長投資方針

年期	年間金額	累計	進捗率
2022年3月期 (実績)	9.2億円	9.2億円	13.1%
2023年3月期 (実績)	17.1億円	26.3億円	37.6%
2024年3月期 (実績)	11.8億円	38.1億円	54.5%
2025年3月期 (計画)	13.9億円	52.0億円	74.3%
2026年3月期 (予想)	18億円	70億円	100%

DX投資	30～50億円
物流投資	100～150億円
人的資本投資	5億程度/年間
M&A投資	相当額

- ・利益の分配
- ・外部資金の調達も検討

7. 配当の状況

2023年11月9日及び2024年5月13日に24年3月期期末の配当金の修正予想の開示を行いました

	1株当たり配当金			
	中間	期末	年間	配当性向
2023年3月期 (実績)	11円	11円	22円	33.2%
2024年3月期 (23年11月発表)	11円 (実績)	29円	40円	39.3%
2024年3月期 (24年5月発表)	11円 (実績)	40円 (※予定)	51円	50.1%
2025年3月期 (予想)	27円	27円	54円	50.4%

(※予定) 2024年6月26日開催の当社第63回株主総会で正式に決定する予定です

2025年3月期 今後の見通しと通期業績予想



1. 2025年3月期 今後の見通し（業界動向）
2. 2025年3月期 通期業績予想

シモジマグループは包装資材を扱う専門業者

経済全般

- ・コロナ禍が過ぎ、特需は一巡 内需主導で引続き回復していくことに期待
- ・2024年問題 金融資本市場の変動 地政学的リスク

物流費の高騰、エネルギー価格、原材料価格不安定、歴史的円安 ▶ コストアップ

業界の動向

- ・値上げ交渉 ▶ 情報収集を強化し、慎重に対応
- ・環境に配慮した商品の開発、販売 ▶ 競争激化

その他

- ・サステナブルな世界の実現に向けた社会からの要請 ▶ UP
- ・資本コストや株価を意識した経営への対応 ▶ 具体的な取組み開示

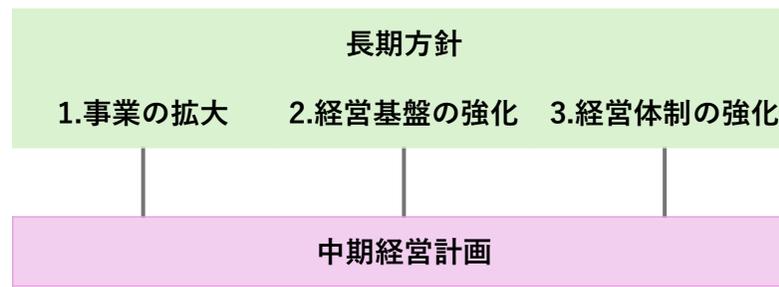
2. 2025年3月期 通期業績予想

単位：百万円

【連結】

科 目	2024年3月期 実 績	2025年3月期 予想		
	金 額	金 額	増 減 額	前 期 比
売 上 高	57,794	61,800	+4,006	+6.9%
営 業 利 益	3,262	3,800	+538	+16.5%
経 常 利 益	3,623	4,000	+377	+10.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,372	2,500	+128	+5.4%

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、当該予想数値と異なる場合があります。



長期方針と
中期経営計画の関係

シモジマグループの成長と発展に向けて (中期経営計画に対する活動状況)



1. 事業の拡大

- (1) 販売力強化の施策 100万×100万プロジェクト進捗状況
- (2) 商品力強化の施策 環境配慮型商品の開発と普及

2. 経営基盤の強化

- (1) 資本コストや株価を意識した経営への対応 現状分析と目標
- (2) 資本コストや株価を意識した経営への対応 具体的な取組み

3. 経営体制の強化

- (1) サステナビリティ活動 サステナビリティ活動 植林活動
- (2) サステナビリティ活動 サステナビリティ活動 エンゲージメントアンケート
- (3) 人的資本投資

登録商品数：100万SKU達成！



2026年3月期・商品数目標
「100万SKU」

2026年3月期・顧客数目標
「100万会員」

2024年3月31日現在

100.9万SKU

DX投資で飛躍的
増加！

2024年3月31日現在

73.5万会員

※SKU=ストック・キーピング・ユニットの略称

在庫管理における最小の品目数を数えるための単位

※CRM=カスタマー・リレーションシップ・マネジメントの略称

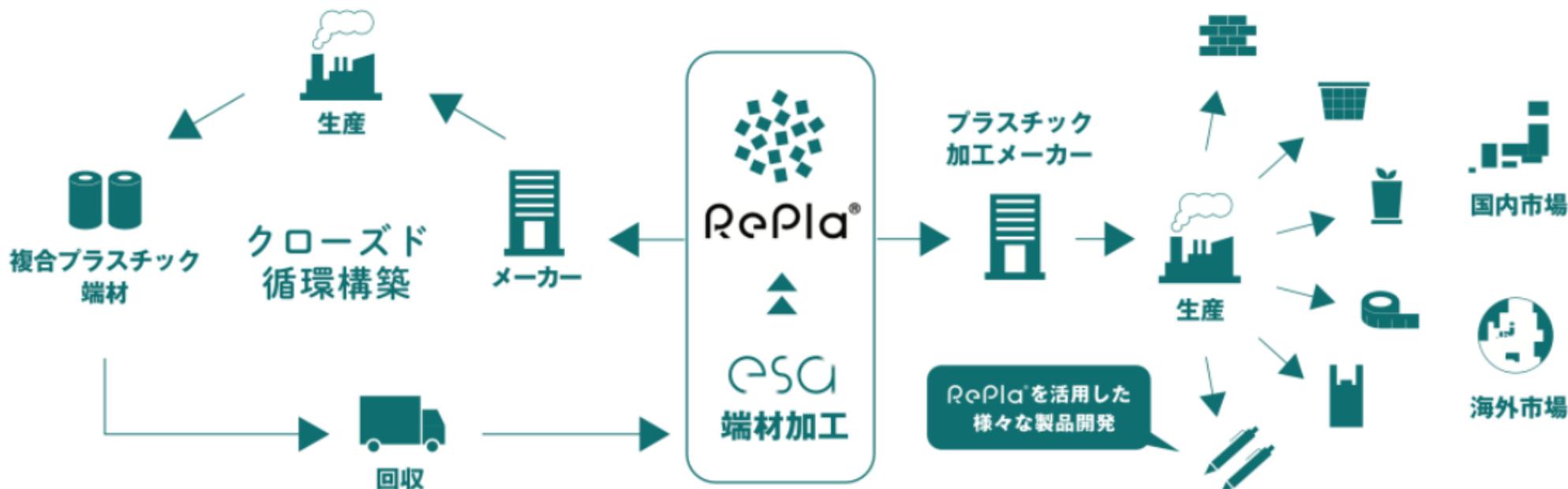
顧客との関係性・コミュニケーションを管理しながら、その関係を長期的に深めて行くマネジメント手法

1-(2)事業の拡大 商品力強化の施策 環境配慮型商品の開発と普及

環境配慮型商品の開発と普及

再生プラスチック原料「Repla®」を活用したレジ袋・ゴミ袋の開発販売について株式会社esa（イーサ）、株式会社サガシキ、株式会社シモジマ 3社共同で開発

Repla®が構築する循環スキームのイメージ図



	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	2030年3月期 計画
当社オリジナル商品における 環境配慮型商品の販売比率	15.4%	16.5%	20.0%

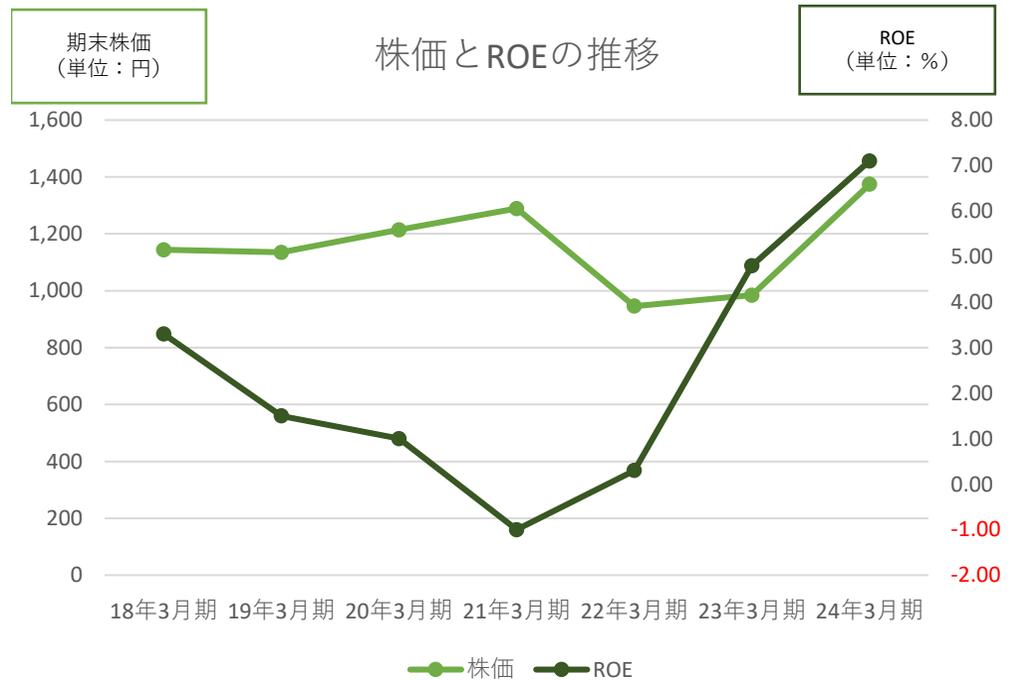
2-(1) 経営基盤の強化 資本コストや株価を意識した経営への対応 現状分析と目標



現状分析

資本コスト：6.5%と推定

年期	ROE (%)	期末株価 (円)	PBR (倍)
'18年3月期	3.3	1,144	0.80
'19年3月期	1.5	1,135	0.80
'20年3月期	1.0	1,214	0.86
'21年3月期	-1.0	1,289	0.93
'22年3月期	0.3	946	0.70
'23年3月期	4.8	984	0.70
'24年3月期	7.1	1,374	0.93



指標	目標
ROE	8.0%
PER	12.5%以上維持
PBR	1.0倍以上
自己資本比率 (利益配分)	成長投資の拡充 株主還元の充実

2-(2) 経営基盤の強化 資本コストや株価を意識した経営への対応 具体的な取組み

当社グループは、自社の資本コストについて、一般的な計算方法で導き出される数値及び実際に外部から要求される数値の両面を把握する取組みを行ってまいります。
ROEが常に資本コストを上回る水準を目指します。そして、ROEと株主資本コストの差であるエクイティ・スプレッドを拡大させていくことを目標としています。

① 資本コストの低減

- ・ 会社説明会や面談
- ・ 開示情報の拡充や投資家との対話や交流促進
- ・ サステナビリティ活動の強化

② ROEの改善

- ・ オリジナル商品の販売比率向上
= 高粗利率期待
- ・ 撤退や閉鎖検討、適正な販売チャネル整備
= 生産性向上
- ・ 成長投資 DX投資、物流投資、人的資本投資
- ・ M & A投資

※従来 = 自己資金

今後 = 外部借り入れも検討

③ PERの改善

- ・ 基本方針は安定配当
- ・ 株主の皆様への還元姿勢をより明確化



	これまで	今後
指標	配当性向	
目標	30% 目途	50% 目途

3-(1) 経営体制の強化 サステナビリティ活動 植林活動

○マテリアリティ 「カーボンニュートラルの取組み強化」 「シモジマの森」 植林活動開始！



植林を行う笠井社長

三重県多気郡大台町

1.2haを「シモジマの森」と命名

43種類の樹種で多様性のある森づくりに参画

・ヤマザクラ ・ケヤキ ・イロハモミジ など

2024年3月末時点で990本を植林しました

○マテリアリティ「従業員エンゲージメントの向上」
エンゲージメントアンケート実施

	当社の状況	具体的意見	
強み	<ul style="list-style-type: none"> ・同僚との関係の良さ ・働きやすさ (時間、場所) 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係が良い ・有給休暇が取得しやすい ・プライム企業で安定している ・福利厚生がしっかりしている 	
	当社の状況	具体的意見	対応
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・評価、報酬制度 	<ul style="list-style-type: none"> ・給与水準を高めてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・給与体制の見直し <p>大卒新入社員の初任給 20%以上引上げ ※2023年11月9日開示</p>

3-(3) 経営体制の強化 人的資本投資

2025年3月期 賃上げ率：7.9%

① 初任給アップ 2024年4月から

単位：円

	従来	引上げ後	引上げ額	引上げ率
大卒 営業（東京）	234,980	285,060	50,080	21.3%
大卒 販売（東京）	220,980	271,060	50,080	22.6%

② 社員研修費推移

単位：千円

	実績				計画
	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
金額	5,881	6,729	8,753	11,247	18,000
前年比		114%	130%	128%	160%

③ ダイバーシティへの取組み 中途採用（正社員）

単位：人

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
男性	3	4	1	7	8
女性	3	2	2	7	12
合計	6	6	3	14	20

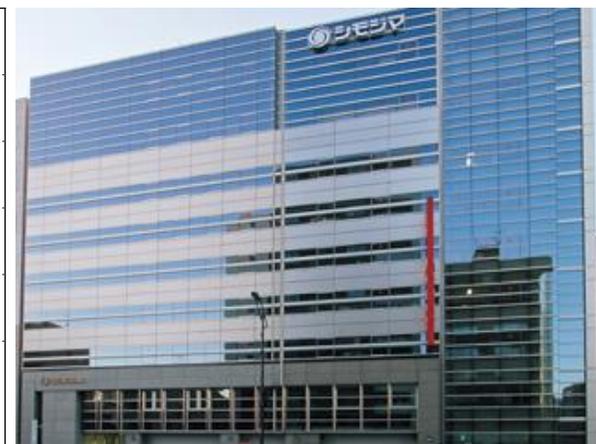
株式会社シモジマ 会社紹介



1. 会社概要
2. 沿革
3. 受け継がれる シモジマの精神

1. 会社概要

会社名	株式会社シモジマ	SHIMOJIMA Co., Ltd.
創業	大正9年	
設立	昭和37年4月26日	
資本金	1,405百万円	
本社	東京都台東区浅草橋五丁目29番8号	
代表者	代表取締役社長 笠井義彦 代表取締役専務 下島雅幸	
従業員数	連結 1,223名 (2024年3月現在) 単独 849名 (2024年3月現在)	
事業内容	卸売販売 ◇紙製品事業 紙袋・包装紙・紙器 ◇化成品・包装資材事業 ポリ袋・粘着テープ・食品包材・紐リボン・その他包装資材 ◇店舗用品事業 POP用品・文具事務用品・店舗雑貨・アパレル関連資材 ・園芸関連資材	
売上高	577億94百万円 (2024年3月期/連結)	
営業利益	32億93百万円 (2024年3月期/連結)	



シモジマ本社ビル



シモジマ浅草橋本店

年月	沿革
1920年1月	包装材料卸問屋下島商店創業
1943年8月	(株)下島商店発足
1943年9月	下島荷具工業(株)に商号変更
1964年7月	(株)シモジマを設立
1967年7月	(有)彩光社に資本参加
1972年3月	浦和市（現さいたま市）に東部配送センター設置
1977年12月	東大阪市に西部配送センター設置
1989年9月	栃木県安蘇郡田沼町（現佐野市）に田沼倉庫設置。物流子会社ヘイコーハンドリング(株)（現シモジマ加工紙(株)）を設立
1995年12月	日本証券業協会に株式を店頭登録 資本金14億507万円
1996年9月	当社最大店舗の浅草橋5号館（現浅草橋本店）を新築オープン
2000年11月	本社においてISO14001認証取得
2001年2月	東京証券取引所市場第二部上場

年月	沿革
2001年9月	名古屋市中区に同地区最大規模の名古屋店をオープン
2003年10月	東京浅草橋に浅草橋6号館（現east side tokyo）をオープン
2004年9月	東京証券取引所市場第一部に指定替え
2006年3月	子会社、下島（上海）商貿有限公司を設立
2010年4月	(株)リード商事を子会社化
2014年4月	執行役員制度導入
2014年8月	大阪南港物流センター開設
2017年8月	子会社、(株)エスパックを設立
2017年9月	(株)我満商店をグループ化
2019年10月	ミタチパッケージ(株)を子会社化
2019年12月	朝日樹脂工業(株)を子会社化
2021年11月	(株)グローバルブランドを子会社化
2022年4月	東京証券取引所の市場区分見直しによりプライム市場へ移行

3. 受け継がれる シモジマの精神

初期の平光マーク



現在のHEIKOマーク



「平光マーク」に込められた思い
 「良心的でないものは作らない・売らない」というのが創業時からの当社の信念。当社が扱う商品であることを示すマーク。
 「平」= なだらかに行き渡らせる
 「光」= 仏の御心の輝き
 正しく、誠の精神に則った商品を世界中に行き渡らせたい。そうした願いが込められている。



現在



環境配慮型商品の拡大

平成時代



昭和の時代の
手提げ紙袋



再生紙手提げ袋

大正・昭和時代



創業当時の
店舗兼住居

創業1920年



下島商店時代の
カタログ



平紐



クリスタルパック



木製カトラリー
とクラフトBOX



宅配用資材

※既に製造販売を中止している商品も御座います。

ご清聴ありがとうございました。



お忙しいところ、弊社決算説明会にお集まり頂き、誠にありがとうございました。

本資料につきましては、情報提供を目的としたものであり、株式売買の勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料に掲載されております計画や見通し、戦略等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び不確実な要因の仮定を前提とし、当社が独自に判断した予想であるため、実際の業績等は、今後の経済情勢、原料価格、為替レートなど様々な要因により、これらの計画とは変動する場合がございます。

従いまして、本資料の掲載内容について情報の誤りが生じた場合においては、当社は一切責任を負うものではありませんので、ご了承いただきます様、お願い申し上げます。